

令和8年度 庄内中学校生活規定

はじめに

近年の社会情勢の変化や人権意識の高まりなどを踏まえ、令和5年度より、本校ではブレザー型標準服を新たに導入しました。それに伴い「生活規定」も以下のように改定し、生徒一人一人の多様性に配慮しつつ、自ら決まりを考えていく態度を育成していきたいと考えています。

学習指導要領においては、長年「生きる力」を育むことが示されており、授業をはじめとする学校生活の場面はもちろん、入学式や卒業式といった儀式的行事、修学旅行等の対外的な行事の場面において、生徒の多様性を生かしつつ、社会の一員として TPO に応じた「モラル」や「マナー」を校則に則って学び、社会を生き抜く資質を獲得できるような教育活動を行うことが述べられています。

また、令和4年12月の生徒指導提要の改訂から、生徒指導は、生徒が自身を個性的存在として認め、自己に内在している良さや可能性に自ら気づき、引き出し、伸ばすと同時に、社会生活で必要となる社会的資質・能力を支えていくものであること。生徒一人一人がこの目標の達成のため、自発的、自律的かつ、他者の主体性を尊重しながら自らの行動を決断し、実行する力である「自己指導能力」を獲得する必要性をあげています。

このことから、学校の決まりに関しても合理的な範囲内において制定し、生徒が校則を自分のものとして捉え、将来「社会の一員として」成長していくうえで、自主的に守ることができるよう合意形成と意思決定を基盤とした校則の見直しを進めていきます。

合意形成と意思決定を基盤とした校則の見直し「生徒指導提要」令和4年12月抜粋

1 校則の定義

児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められる校則は、児童生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくために設けられているものです。校則は、各学校が教育基本法等に沿って教育目標を実現していく過程において、児童生徒の発達段階や学校、地域の現状、時代の変化等を踏まえて、最終的には学校長により制定されるものです。

2 校則の見直し

校則を制定してから一定の期間が経過し、学校や地域の状況、社会の変化を踏まえて、校則に意義を適切に説明できないようなものについては、改めて学校の教育目標に照らして適切な内容か、現状に合う内容に変更する必要があるか、また、本当に必要なものか、絶えず見直しを行う必要があります。

3 生徒の参画

校則の見直しの過程に児童生徒自身が関与することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする意識に醸成につながります。また、校則を見直す際に児童生徒が主体的に参加することは、学校のルールを無批判的に受け入れるのではなく、自身がその根拠や影響を考え、身近な課題を自ら解決するといった教育的意義を有するものとなります。

1. 頭髪等の身だしなみ

【髪型】

- ・ 男女ともに自然体で清潔感がある髪にしましょう。そして学習や運動の妨げにならない髪型を自分で考えましょう。髪を染めたり、色を抜いたり、パーマをかけたりしません。整髪料は使いません。
- ・ 男女ともに特異な髪型（大胆に長短がある髪・極端に左右が非対称な髪・ラインを入れた髪・編み込みをした髪等）はしません。
- ・ 前髪は目にかからないようにしましょう。目にかかる場合はピンでとめましょう。
- ・ 男子は、耳や襟にかからない程度、女子は髪が肩にかかる程度までのびたら、ゴムでまとめましょう。また、ゴムでまとめるときは体操帽子をきちんとかぶれるようにしましょう。

【眉】

- ・ 自然な状態を心掛けましょう。
コンプレックスの解消のために、眉を整えることは可としますが、自らを着飾るためではないことを考えましょう。

アドバイス

- ・ 儀式的行事や対外的行事では、ゴムやピンは華美でないものをつけましょう。
- ・ 頭髪等で悩んでいる生徒は、保護者とともに学校に相談しましょう。

2. 服装等の身だしなみ

ブレザー型

【冬服】

- ・ 男女とも指定の紺色スラックスまたはスカートとブレザーに、白のワイシャツまたはブラウスを着用しましょう。スカート丈は膝が隠れる長さにしましょう。
- ・ 指定のネクタイまたはリボンを身に着けましょう。ブレザーの下に指定のベストを着用できます。

【夏服】

- ・ 男女とも指定のチェック柄スラックスまたはスカートに、白の半袖ワイシャツまたはブラウスを着用しましょう。スカート丈は膝が隠れる程度にしましょう。
- ・ 男女とも紺色の指定ポロシャツを選択し、着用することもできます。

【中間服】

- ・ 気候や体調、気分に合わせて冬服と夏服を組み合わせることで着ることができます。

【ベルト】

- ・ スラックスを履く場合は必ずベルトをつけましょう。単色で黒・紺・茶を選び、華美なものは慎みましょう。

【名札】

- ・ 校内では、左胸のポケットにネームカードをつけましょう。

【中着】

- ・ 白・黒・紺・グレー・ベージュの無地かワンポイントを選びましょう。

アドバイス

- ・ 学習の場にふさわしい制服の着こなしをしましょう。
- ・ ブレザーのボタンを2つ、ボタンを留めるのがマナーです。
- ・ 袖を大きくまくったり、シャツのボタンを2つ以上開けたり、裾を出したりしません。
- ・ 夏服を着用する場合、シャツやブラウスに指定のネクタイまたはリボンを身に着ける必要はありません。しかしその日の気分でネクタイまたはリボンを身に着けたり、指定のベストを着用したりすることはできます。
- ・ 中着のワンポイントは、手のひらに収まる程度の大きさまでにしておきましょう。

3. 防寒着・防寒具（11月～3月を目安に着用期間とします）

【防寒着の色】

- ・黒、紺を基調とした防寒に適しているものを選びましょう。

【スタイル】

- ・ジャンパー：前面がファスナーやボタンで動きやすいもの。
- ・パーカー：ジップタイプで動きやすく、膝より上までの長さのもの。
- ・ハーフコート：膝より上までの長さのもの。
※フード付でも良いが「ファー」の付いていないもの。

【その他】

- ・ブレザーの下には、指定のニットベスト（紺）を着用できます。指定以外のベストやカーディガンは着用しません。
- ・セーラー服にカーディガン（色は黒・紺の無地、ワンポイント可）を着用できます。
- ・季節の変わり目において、夏服セーラー服にカーディガン（色は黒・紺の無地、ワンポイント可）を着用できます。
- ・ストッキング・タイツ・レギンスを履くことができます。色はベージュか黒色の無地を選びましょう。
マフラー、ネックウォーマー、手袋は登下校中に着用してもかまいません。

アドバイス

- ・気候に応じた着こなしを考えましょう。
- ・防寒着を着用する場合は、前ファスナーやボタンをきちんと留めましょう。
- ・防寒のために着用するものなので、校舎内では防寒着や防寒具を脱衣するマナーを身に付けましょう。
- ・防寒着を着用する際には、必ず冬服を着用しましょう。寒さを感じる際は、まず冬服を着用し、それでも寒い場合に防寒着や防寒具を活用しましょう。
- ・衣替えの期間は設けません。保護者の方と相談し、気候や体調に応じた指定の制服を選び、着用しましょう。ただし、儀式的行事や対外的行事等では、全校生徒の制服を統一します。
※社会の一員としての自覚を持ち、マナーを学習しながら身だしなみを整えましょう。

4. その他

【靴】

- ・体育の授業や部活動でも使用できるローカットの紐またはマジックテープ付きの運動靴を選びましょう。色は白を基調としたものにしましょう。（別紙資料参照）

【かばん】

- ・学習活動を目的とした機能的なかばんを選びましょう。

【靴下】

- ・白・黒・紺・グレーで単色の靴下を選びましょう。ワンポイント、ワンラインまでのものを選びましょう。

【その他】

- ・紫外線防止の観点から、日傘をさして登下校することができます。

アドバイス

- ・儀式的行事や文化的行事では、制服の着こなし方を揃えることで、学校全体が一つにまとまる意識を持つことが大切です。
※身だしなみ（制服、靴下等）については各行事において、生徒会を中心に生徒同士で決定します。